

第5日目(2009/04/11)

終日バス移動 - 遺跡を見つつロンドンへ

8時過ぎに出発して、1時間40分程移動してバースに。

ここはユネスコの世界遺産にも登録されていて、イングランドでも1、2を争う人気の観光都市。言わずと知れた数々のローマ時代の遺跡をはじめ、ジョージ王朝時代の雰囲気美しく保存しているそうです。移動中は雲が追いかけてくるのを見ました。とにかく天気が変わりやすい。



バスで最初に到着したのは「ロイヤルクレセント」という集合住宅。

クレセントとは英語で三日月の意味で、このロイヤルクレセントは文字通り三日月状になってます。集合住宅というとアパートとかのイメージなんだけど、高級ホテルとして今でも予約して滞在する事が出来るようです。柱の様式が特徴あるようです。わからんけど。





ここは外からの撮影のみで、次はメインの温泉。

バースは2世紀頃、ローマの支配下で温泉の街として発展。バースの温泉はさまざまな病気に効用があると考えられ、ローマ支配末期にはバースを取り囲むように城壁が建築されたとの事。

今は衛生上の問題で入浴出来ないが、併設されている飲泉所で飲泉ができるので、入浴は出来なくても「温泉体験」は可能。つまり今でも温泉が出ているのは凄いな。1人1台ずつオーディオガイドを貸して貰ったけど、僕のは調子が悪くてかみさんののが頼りでした、

見学コースでは当時の様子もわかるようになっていました。  
ローマ時代で風呂といえば、漫画「テルマエ・ロマエ」(時事ネタだから風化するか(笑))





まだ熱いお湯が出てますね。

さて、風呂の後はすぐ近くにあるバース大聖堂へ。徒歩5分もない。

バース大僧院は、12世紀の最初の建造物から何度も改築され、17世紀のはじめにほぼ現在の形になったとか。

フランス・ゴシックとはまた違った方向に進化した、イギリス・ゴシックの絢爛な装飾がみられます。このバース大僧院の美しさをエリザベス1世は「イングランド西部の灯火」と讃えたそうです。

ここもスタンドグラスは立派でした。余すことなく撮影したけど、ほとんど割愛。



**バース大僧院**  
によろこそ



大僧院の東端にある巨大な窓を見上げてください。そこにはイエス・キリストの生涯に起きた56のエピソードが描かれています。


イエスは今から2千年前にパレスチナのベツレヘムという寒村で生まれました。30歳までは普通の人と全く変わらない労働に明け暮れる日々を過ごしましたが、その後3年間はガリラヤ湖を中心に神についての説教と、病に苦しむ人々を癒す活動で時間を費やしたのです。イエスには12人の弟子がいました。

イエスは全くの無一文、1冊の本も著していませんし、軍隊を指揮したこともありません。政治権力を行使したことなど一度もありません。生涯で200マイル以上遠出したことすらなかったのです。草履の裏で若干33歳で十字架に釘付けされて処刑されたのです。

今日、20億人を超える世界中の人々がイエスを神の子として崇め信仰しています。人間をこよなく愛する神を自然界の神秘の中に見いだす経験をした人々が信仰心をもつようになるのです。

**HOMAGE to**  
*Handel*


FÉLIX-ALEXANDRE GUILMANT



PERCY GRAINGER  
ARNO LANDMANN

SIGFRID KARG-ELERT

Peter King  
*Klais Organ of Bath Abbey*



ここにはお土産屋も併設されていて、かみさんはポストカード、僕はCDを買いました。この後はホテルのレストランでポークソテーを食べてストーンヘンジへ。



90分程度の移動でストーンヘンジ到着。  
 ストーンヘンジは遺跡を囲むように見学用の道があってそこを歩くだけ。  
 音声ガイドもありますが、まあ特筆する事はないかな。



ストーンヘンジの売店で夕食のサンドイッチやピザを買ってからロンドンのホテルへ。旅行も終盤に。ホテルは繁華街からかなり離れた場所にあり、これはツアーの料金を考えると仕方ない。治安が悪い地域らしく、夜間は外出するなという事です。

ディズロンドン・ショーレディッチというホテルでチェーンのアメリカンスタイルのビジネスホテルでした。まあ僕はBBCが無料で映ればいいので。(笑)  
ロンドン滞在中はここにずっといました。